

第48回

# 名古屋大学附属図書館友の会 トークサロン ふみよむゆふべ

男装の姫君の「幸福な結末」  
～『新蔵人物語』から考える女性の幸福論～  
かたり 江口 啓子 氏（豊田工業高等専門学校）

室町時代に作られた『新蔵人物語』  
絵巻には中流貴族の家に生まれた三姉妹  
の三者三様の生き様が描かれています。  
長女の大君は出家して尼になり、家族の  
死後の安楽を祈る生活を送ります。次女  
の中君は女房として出仕して帝の寵愛を  
得、子どもにも恵まれます。そして三女  
の三君は男装をし、男として出仕する道  
を選びました。男装の三君は「新蔵人」  
と呼ばれ、帝から姉の中君をもしのぐ寵  
愛を得ることになります。

絵巻として作られ、画中詞（絵の中に  
書き込まれた登場人物の台詞）を持つ本  
作品を、女性の幸福についてどう描かれ  
たかという観点から読み解いていきます。



2024年6月21日（金）

午後6時～7時30分

名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

名古屋大学附属図書館 後援

名古屋大学附属図書館友の会

Phone: 052-789-3684

E-mail: libtomo@t.mail.nagoya-u.ac.jp

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

参加無料, 申込不要  
会員外参加も大歓迎!

